

# 活動報告（10月レポート）

担当：静岡県西部農林事務所天竜農林局地域振興課

表題：小学校で開催された「お茶の淹れ方教室」で講師を務めました

期日：令和元年10月8日（火曜日）

場所：浜松市立光明小学校（浜松市天竜区）

10月8日（火曜日）、浜松市天竜区山東の浜松市立光明小学校で3年生60人を対象に、天竜茶振興協会主催の「お茶の淹れ方教室」が開催されました。

最初に、県内の茶産地や緑茶の種類を県西部農林事務所天竜農林局の職員が紹介、続いて、JA遠州中央天竜営農センターの職員が、静岡茶のうち、特に“天竜茶”について、その特徴を説明しました。

おいしいお茶の淹れ方のポイント（お湯の温度や、複数の茶碗にお茶を注ぐときの「回し注ぎ」の方法など）を、地元の茶商「現甲園」の原氏から学んだ児童たちは、普通煎茶・深蒸煎茶・焙じ茶・玄米茶の4種のお茶を、班ごとに自分たちで淹れて、それぞれのお茶の香りや味を確認しました。

児童たちは、「良い香りのものや苦いものもあり、なかなかできない体験をした」「もっといろいろなお茶を飲んで、味覚を良くしたい」などと感想を話してくれました。

次回の「お茶の淹れ方教室」は、11月19日（火曜日）、浜松市立水窪小学校で開催されます。

西部農林事務所天竜農林局は、地域の子どもたちが、急須で淹れたお茶の味を知り、お茶に関心や興味を持ってくれるよう、今後も、天竜茶振興協会が主催する「お茶の淹れ方教室」の開催を支援していきます。



淹れ方のポイントを説明する茶商



班ごとに4種のお茶を淹れる児童たち